

第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

環境指標の達成状況

指標項目	単位	目指す方向	基準値	上段：年次目標値／中段：実績値／下段：達成状況					最終目標値
			2017年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2028年
市ホームページ及びSNSによる環境情報の発信件数	件	増加	1,420	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	3,600
				1,380	1,889	1,595	1,871	2,186	
				×	×	×	×	×	

※「環境学習関連事業の参加者数」はP18 第2章 第4節 協働・学習プロジェクト参照

【現状及び課題】

◆SNSのフォロワー数は増えたが、発信件数の目標未達成

「市ホームページ及びSNSによる環境情報の発信件数」については、目標未達成となりましたが、積極的な情報発信を続けており、発信件数は前年度より増加しています。今後も発信件数及び発信内容の充実に力を入れていきます。

主な施策の実施状況

6-1 環境づくり・人づくりの推進

6-1-1 持続可能な環境づくりの推進

○「イクレイー持続可能な都市と地域を目指す自治体協議会」への加盟

2023年5月に「イクレイー持続可能な都市と地域を目指す自治体協議会(ICLEI-Local Governments for Sustainability)」に加盟しました。同協議会は、世界2,500以上の様々な規模の自治体で構成された国際ネットワークです。所沢市はイクレイーから自治体間の連携支援や情報交換・交流の場の提供を受けながら、市域の脱炭素化をはじめとして持続可能な都市の在り方や先進的な施策について理解を深め、市の環境行政に活用していきます。



■イクレイー加盟式

○所沢市マチごとエコタウン推進計画の中間改定事業

所沢市ゼロカーボンシティ宣言、社会情勢変化や市民の意見、関連法、施策の達成状況等を踏まえて、環境審議会にて検討を行い、中間改定を実施しました。改定にあたっては、2022年度に開催した「マチごとゼロカーボン市民会議」及び事業者を対象とした「所沢市の脱炭素化に関する意識調査」にて収集した、市民や事業者の意見を最大限尊重することを意識して所沢市環境審議会にて審議しました。

また、所沢市気候変動適応センターを設置し、気候変動関連の基礎情報等が増加・充実してきたため、市内のこれまでの気象情報、生じている影響、適応策となりうる既存施策などを整理し、所沢市気候変動適応計画を策定し、所沢市マチごとエコタウン推進計画（中間改定版）に内包しました。

○近隣5市（ダイアプラン）における共同事業

近隣5市で構成する埼玉県西部地域まちづくり協議会（ダイアプラン）の環境部会では、2021年2月のゼロカーボンシティ共同宣言を受け、児童・生徒に環境問題について関心を持ってもらうための「第2回ダイアプラン環境ポスターコンテスト」を開催したほか、地球温暖化対策に関する講義・視察の実施、今後実施すべき取組についての検討を進めました。

○所沢市脱炭素経営ネットワーク会議

2050年までにゼロカーボンシティを実現させるためには、市域全体の二酸化炭素排出量の約30%を占める事業活動の脱炭素化が重要です。そこで、市内事業者の脱炭素化を加速させるため、2023年8月に「一般社団法人再生可能エネルギー地域活性協会（FOURE（フォーレ）」）と連携して「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を設立しました。21（2024年4月現在）の団体・企業が参加する同会議は、市内事業者が脱炭素経営に取り組むための具体的なアクションを展開することで、市域全体の二酸化炭素排出量の削減を目指しています。また、この取組は、企業の成長の機会や新たなビジネスチャンスを提供するだけでなく、地域の持続可能な発展に寄与することも目指しています。

[2023年度 活動内容]

- ・第1回本部会議（2023年8月） 参加数：21 団体（37 人）
- ・第1回作業部会（2023年10月） 参加数：19 団体（32 人）
- ・脱炭素経営セミナー（2023年12月） 参加数：[対面] 7 団体（10 人）、[WEB] 13 団体（20 人）
- ・脱炭素経営ネットワーク交流会（2024年1月） 参加数：45 団体（約90 人）
- ・環境展示会での展示（2024年3月） 来場者数：1,724 人

6-1-2 環境教育・環境学習の推進

○ESD 調査研究協議会

ESD（持続可能な開発のための教育）調査研究協議会では、各学校が「今行っている教育活動が ESD とつながっている」ことに気づき、持続可能な社会の創り手を育成することができるよう支援する趣旨の調査研究を行っています。

2023年度は、所沢 ESD 通信の定期発行、学校を会場とする研修会、教育センターホームページで研究に関する刊行物の公開等を行いました。

○出前講座の実施

本市では、10人以上で構成された団体等の申請に応じて、市の職員を講師として派遣し、行政課題への対応や市政の状況等について情報を提供する「出前講座」を実施しています。2023年度の環境に係る出前講座は、開催回数5件、参加者総数210人でした。

○地球にやさしいこどもサミット

※P19 第2章 第4節 協働・学習プロジェクト参照

○小中学生に向けた出前講座・環境学習

子どもの環境学習の機会を創出するため、小中学校で環境に係る出前講座を行いました。

[2023 年度実績]

- ・「環境行動で SDGs のゴールを目指して」
南陵中学校 1 年生 (216 名)
- ・「マチごとエコタウン所沢をめざして」
椿峰小学校 6 年生 (60 名)
- ・「かんきょうもんだいとわたしたちにできること」
北小学校 4 年生 (97 名)
小手指小学校 4 年生 (117 名)



■出前講座の様子

○小学生用環境教育副読本「わたしたちの環境」

市内小学校の 4 年生を対象に 2023 年度版の「わたしたちの環境」を作成し、配布しました。新学習指導要領との整合性を高めると共に、児童がより環境問題を自分事として考える事ができるよう工夫しています。



■わたしたちの環境

○市の初級職員に対する環境研修

初級職員研修の一環として、おたかの森トラスト代表を講師とする研修をくぬぎ山周辺にて実施しました。講話の聴講のほか、ナラ枯れの木の伐採・枝落とし等の体験を通して、本研修の目的である、所沢市の生物多様性に関する課題や考え方について学びました。

6-1-3 環境保全活動の推進

○自治会・町内会への支援

本市では、「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」に基づき、地域活動の中心的な役割を担う自治会・町内会への加入と参加の促進を図るとともに自治会・町内会の活動を支援しています。

加入促進パンフレットの配布や、加入促進ポスター展を開催し、自治会活動を周知するなど、自治会・町内会の活動を支援しました。

○環境推進員による活動

地域での環境保全活動を推進するために、市から委嘱を受けた 1,052 名が所沢市環境推進員として、リーダー的立場で生活環境保全活動に積極的に取り組んでいます。主な活動として、「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動、ごみ減量・リサイクルの推進活動などが挙げられます。また、環境推進員の資質向上を図るための事業として、会報の発行なども積極的に実施しています。

○市民活動支援事業「所沢市アダプト・プログラム」

本市では、環境美化活動として“アダプト・プログラム”を実施しています。アダプト (ADOPT) とは、

第6節 ともに進める『善きふるさと所沢』の環境づくり

英語で「～を養子にする」という意味です。道路、公園、緑地、河川・水路等の市が管理する一定区画の公共空間を養子にみだて、市民が里親となって養子の美化（清掃）を行い、行政が支援するという美化活動です。

〔2023 年度実績〕登録団体数：40 団体

6-2 環境情報の整備と共有化の推進

6-2-1 環境情報の体系的な整備

○環境情報の体系的な整備

市民や事業者が環境に関する情報にアクセスしたい時に、分かりやすい形でアクセスできるよう、体系的な情報整備を行っています（所沢市の環境、環境データブック、清掃事業概要、スマートフォン用家庭ごみ分別アプリケーション「わけトコッ!」、ホームページ、メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の発電、SNS 等）。

6-2-2 環境情報の共有化の推進

○情報提供及び啓発

まちごとエコタウン推進課の業務紹介、環境に関する用語紹介、メガソーラー所沢及びフロートソーラー所沢の毎月の発電実績、RE100 の日等について情報発信を行いました。また、視覚的にわかりやすい投稿を目指し、投稿内容・デザインの刷新を行いました。

○ふるさとのみどり啓発事業

本市の豊かなみどりを多くの方に知っていただくと共に、保全活動やまちなかの緑化の推進活動を促すきっかけづくりの啓発事業として、YouTube にて市内緑地を紹介する映像を公開したり、市ホームページ等にて活動団体の取り組みを紹介するなどしました。

また、生物多様性に関する普及啓発の一環として、市役所 1 階の市民ホールにて市内の生きものや自然環境を紹介する展示を行いました。

○環境ギャラリー

気候変動の現状と家庭でできる取組等の周知を行うため、気候変動の影響や家庭でできる取組、太陽光パネルや蓄電池、環境に関する企業・団体の取組、所沢図書館蔵書の書籍、吾妻地区の児童・生徒による SDGs・脱炭素ポスターについて、市役所 1 階市民ホールで展示を行いました。

併せて、手回し発電・電球比較実験、木のストローや缶バッチづくり、ごみ収集車のクラフト工作などの体験や、うちエコ診断、アサガオの種や農産物直売所ガイドマップの配付、我が家のごみ減量宣言事業の募集、八国山清掃活動の動画放映も行いました。



■環境ギャラリーの様子

○広報による情報提供及び啓発

2023年度は広報ところざわ11月号にて、脱炭素社会の実現に向けた特集記事を掲載し、地球温暖化の現状や市の取り組み、家庭でできる取り組みなどについて紹介しました。



■「広報ところざわ」令和5年11月号